2020.1.17(一般の連立方程式の解の10ターン) 長谷川井143~ 14意のA∈Mmn(f)に対し、行変形だけにふて次の形に変形できる

これを踏込て、つぎの連立方程式を考える。

A 2 = 4

行変形3で表すアドより、AがP智段形3になるとすると、

Cの引のうろ、j1 … jr が基本がかれであるとする。

並がかえを表す行列 Qにより、

$$CQ = \begin{bmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \end{bmatrix}$$

$$Q_{x}^{-1} = \begin{bmatrix} \chi_{j_1} & \chi_{j_r} & \chi_{j_r} & \chi_{j_{r-1}} \end{bmatrix}$$
 $\xi_{j_3} \xi_{j_3}$.

これにより、AZ=Yが解をもつのはずr+1=…= ym=0のときである。 従って、抗大係数行列はつぎのようになるから、

このことから、rank A = rank [Aly] が分かる。 以上かり、次の定理が従う。 定理、

$$\begin{bmatrix} 2_{j1} \\ \vdots \\ 2_{jr} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 3'_1 \\ \vdots \\ 3'_r \end{bmatrix} - 2'_1 Q'_1 - \dots - 2'_{n-r} Q_{n-r}$$

$$(2'_1, \dots, 2'_{n-r} \cup 3'_1 \stackrel{?}{\rightleftharpoons})$$